

定期巡回・随時対応型訪問介護看護ガーデンハウスはまむら
介護・医療連携推進会議 報告書

開催日 : 令和7年12月18日(木) 14:00~14:30

開催場所 : ガーデンハウスはまむら 3階食堂

<出席者>

	構成区分	人数	構成区分	人数
出席者	利用者		地域包括支援センター	1
	利用者家族	1	地域住民の代表	1
	行政(支所市民福祉課)	1	知見を有する者	2
	地域の医療関係者	2		
事業所出席者	施設長			
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 管理者			
欠席者	1名			

<状況報告> (令和7年9月~令和7年11月)

利用者の状況 (12月1日 現在)	利用人員 (18名) 男性 3名・女性 15名
	要介護1 (6名) 要介護2 (5名) 要介護3 (3名)
	要介護4 (3名) 要介護5 (1名) 平均介護度: 2.39
	平均年齢: 89.37歳 最若: 68歳 最高: 105歳
特記事項	
9月 (登録18名)	新規利用0名、利用終了0名
10月 (登録18名)	新規利用0名、利用終了1名
11月 (登録18名)	新規利用1名、利用終了0名

<活動状況報告>

- ・令和7年9月から令和7年11月の活動実績を報告。
- ・令和7年12月から令和8年2月の活動予定を報告。

<事故等の状況>

4件あり

- ・(状況) 本人より、「ベッドに座り損ねてこけた」と訴えあり。「立てれん」、「ここが痛い」と苦痛表情あり。骨折疑いにて受診する
(予防策) 退院後、検討していく。

- (状況) 昼食時、配膳間違いがあり。予備食提供するも、形態の確認を怠り、提供してしまう。
(予防策) 配膳時、食札と本人の確認を声に出し、提供していく。
- (状況) バイタル測定で訪室すると本人より「服を取ろうとして、そこで今こけた。後ろ向きに倒れ、後頭部を打った」と訴えあり。本人はベッドに座り、更衣を終了している。歩行器がクローゼットの前に置いたままの状態であった。外傷なし。
(予防策) 退院後であり、下肢筋力低下あり。車椅子常設し、フットサポートは外しておく。移乗・移動動作を観察し、転倒に注意していく。本人にはコール使用をその都度説明していく
- (状況) コールあり、訪室すると床に座りこんでいる。「ポータブルトイレに座ろうとしたが足が滑り、尻もちをついた」と訴えあり。外傷なし。人感センサーの対策が実施されていなかった。
(予防策) 人感センサーの対策の再度徹底。(臥床時や居室外に出られた時の人感センサーの位置の再度徹底。

<ご意見やご質問>

- 人感センサーの信頼度はどの程度か？
- 配膳間違いし、予備食を提供し、最後まで摂取されるまで気づかなかったのか。食事途中にむせ等のサインはなかったのか。
- 救急搬送などは早い対応で良かったと思います。転倒の対応も早めの対応が必要です。
- はまむらフェスティバルは、どのくらいの規模であったのか
- 身体拘束適正化研修はどんな内容ですか。